

(平成24年7月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>7月期の野菜の入荷状況は、根菜類では、長ダイコンが生育期の天候不順による入荷の遅れから入荷減、西洋ニンジンが低温による生育遅れから、前半は入荷が少なかったものの後半に回復し、前年並みの入荷となった。葉菜類では、ハクサイが、天候不順の影響により入荷減となったが、多くの品目で、好天に恵まれ作柄良好であったことから入荷増となった。果菜類では、キュウリが好天に恵まれ作柄良好であったことから入荷増、ナスが前月の長雨と台風の影響による生育不良から入荷減となった。また、ピーマンは、主力の大分県産で、葉タバコからピーマンに転作し、生産面積が増加したことから入荷増となった。土物類では、バレイショが好天に恵まれ作柄良好であったことから入荷増、タマネギが作柄は悪かったものの、主力の兵庫県産で入荷量を確保したため、入荷増となった。野菜全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、根菜類では、長ダイコンが需要の低迷により単価安、西洋ニンジンが前年の単価安などにより単価高となった。葉菜類では、ハクサイ、キャベツが一般需要及び業務・加工需要の低迷などにより単価安、ハウレンソウが入荷増の単価安、レタスが前年の単価安により単価高となった。</p> <p>土物類ではバレイショが入荷増の単価安、タマネギが全国的な品薄状態により単価高となった。野菜全体としては前年同期を5%下回った。</p> <p>品目別には、レタス、タマネギが入荷増の単価高、キャベツ、ハウレンソウ、キュウリ、ピーマン、バレイショが入荷増の単価安、西洋ニンジンが入荷前年並みの単価高、トマトが入荷前年並みの単価安、ナスが入荷減の単価前年並み、長ダイコン、ハクサイが入荷減の単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が3%減少し、価格は前年並みとなった。 葉菜類は、入荷が4%減少し、価格は11%安となった。 果菜類は、入荷が7%増加し、価格は13%安となった。 土物類は、入荷が3%増加し、価格は31%高となった。</p>
果 実	<p>7月期の果実の入荷状況は、多くの品目で、好天に恵まれ作柄良好であったことから入荷増となった。産地での流通在庫が少ないリンゴ類と、前月に前進出荷気味であったスイカ類では入荷減となった。果実全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は、柑橘類ではハウスミカンなどで単価の高いパック・化粧箱品の入荷が多いため単価高、リンゴ類では入荷減により単価高、桃、ブドウ類、メロン類では入荷増により単価安、スイカ類では需要の低迷などから単価安となった。果実全体では、前年同期を7%下回った。</p>

品目別には、ハウスミカンが入荷増の単価前年並み、ふじリンゴが入荷減の単価高、桃、デラウェア、アールスメロンが入荷増の単価安、アンデスメロン、大玉スイカが入荷減の単価安となった。

柑橘類は、入荷が前年並み、価格は5%高となった。
りんご類は、入荷が57%減少し、価格は75%高となった。
桃は、入荷が13%増加し、価格は12%安となった。
ブドウ類は、入荷が13%増加し、価格は8%安となった。
メロン類は、入荷が15%増加し、価格は15%安となった。
スイカ類は、入荷が6%減少し、価格は26%安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
<p data-bbox="236 230 368 264">【根菜類】</p> <p data-bbox="220 275 384 309">長ダイコン</p> <p data-bbox="220 521 411 555">西洋ニンジン</p>	<p data-bbox="513 275 1439 387">北海道を中心に、青森県、岡山県、長崎県、岐阜県からの入荷。主力の北海道産で、生育期の天候不順による入荷の遅れから、全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。</p> <p data-bbox="513 398 1439 477">価格は、高温による需要の低迷により、前年同期を21%下回った。</p> <p data-bbox="513 521 1439 678">北海道を中心に、青森県、和歌山県、長崎県、中国からの入荷。主力の北海道産で、低温による生育遅れから、前半は入荷が少なかったものの、後半に回復し、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p data-bbox="513 689 1439 768">価格は、前半に品不足による高値であったこと、また、前年単価安であったことから、前年同期を37%上回った。</p>
<p data-bbox="236 775 368 808">【葉菜類】</p> <p data-bbox="220 819 347 853">ハクサイ</p> <p data-bbox="220 1144 347 1178">キャベツ</p> <p data-bbox="220 1469 411 1503">ホウレンソウ</p> <p data-bbox="220 1682 316 1715">レタス</p>	<p data-bbox="513 819 1439 976">長野県を中心に、茨城県、山梨県からの入荷。主力産地の長野県産でおおむね生育は順調であったが、一部地域で天候不順の影響により正品率の低下が見られ、全体の入荷量は、前年同期を24%下回った。</p> <p data-bbox="513 987 1439 1099">価格は、前年が高値であったこと、また、業務・加工需要の低迷及び高温による一般需要の低迷により、前年同期を15%下回った。</p> <p data-bbox="513 1144 1439 1301">群馬県を中心に、長野県、茨城県、滋賀県、北海道からの入荷。多くの産地で、定植時の低温による生育遅れから入荷の遅れが見られたが、中旬以降は入荷も回復し、全体の入荷量は、前年同期を5%上回った。</p> <p data-bbox="513 1312 1439 1424">価格は、前年が高値であったこと、また、業務・加工需要の低迷及び高温による一般需要の低迷により、前年同期を46%下回った。</p> <p data-bbox="513 1469 1439 1637">岐阜県を中心に、茨城県、北海道、京都府、滋賀県からの入荷。各産地とも、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を42%上回った。</p> <p data-bbox="545 1603 1264 1637">価格は、入荷増により前年同期を15%下回った。</p> <p data-bbox="545 1682 1072 1715">長野県を中心に、北海道からの入荷。</p> <p data-bbox="513 1727 1439 1805">主力の長野県産で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は前年同期を4%上回った。</p> <p data-bbox="513 1816 1439 1895">価格は、前年が安値であったことから、前年同期を3%上回った。</p>

【果菜類】	
キュウリ	<p>京都府を中心に、福島県、愛媛県、滋賀県、奈良県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を12%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を24%下回った。</p>
ナス	<p>京都府を中心に、徳島県、滋賀県、高知県、岐阜県からの入荷。 主力の京都府産で、前月の長雨と台風の影響による生育不良が見られたこと、また、徳島県産でハウス物が早く切り上がり、露地物は入荷が遅れたことから、全体の入荷量は、前年同期を15%下回った。 価格は、入荷減ながら、前年が高値であったことから、前年同期並みであった。</p>
トマト	<p>北海道を中心に、岐阜県、京都府、三重県、熊本県からの入荷。 主力の北海道産、岐阜県産などで、夜温の低下により一時入荷量の減少があったものの、概ね作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期並みであった。 価格は、前年高値であったことから、前年同期を5%下回った。</p>
ピーマン	<p>大分県を中心に、茨城県、宮崎県、兵庫県からの入荷。 主力の大分県産で、葉タバコの需給調整により、葉タバコ生産者の多くがピーマンに転作したことから、全体の入荷量は、前年同期を54%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を30%下回った。</p>
【土物類】	
バレイショ (メーク含む)	<p>長崎県を中心に、北海道、千葉県、茨城県、熊本県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を19%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を14%下回った。</p>
タマネギ	<p>兵庫県を中心に、長崎県、中国、京都府、滋賀県からの入荷。 各産地ともに、生育期の低温の影響から作柄が悪かったものの、主力の兵庫県産で入荷量を確保したため、全体の入荷量は、前年同期を9%上回った。 価格は、全国的な品薄状態により、前年同期を114%上回った。</p>
【その他野菜】	
生シイタケ	<p>徳島県を中心に、北海道、広島県、和歌山県、岡山県からの入荷。 主力の北海道産で生産量を増やしたことから、全体の入荷量は、前年同期を15%上回った。 価格は、入荷増であったこと、また、高温による需要の低迷から、前年同期16%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	<p>佐賀県を中心に、長崎県、和歌山県、宮崎県、高知県からの入荷。</p> <p>各産地ともに、重油価格高騰の影響により生産量は減少しているものの、中央集散機能の発揮により全体の入荷量は、前年同期を4%上回った。</p> <p>価格は、入荷増ながら、単価の高いパック・化粧箱品の入荷が多いため、前年同期並みとなった。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県からの入荷。</p> <p>産地での流通在庫が少ない状況となっているため入荷量は、前年同期を57%下回った。</p> <p>価格は、入荷減であったことから、前年同期を84%上回った。</p>
桃	<p>山梨県を中心に、和歌山県、岡山県、長野県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったことから、前年同期を12%下回った。</p>
デラウェア	<p>大阪府を中心に、山形県、山梨県、京都府、鳥取県からの入荷。</p> <p>各産地ともに、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を23%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったことから、前年同期を12%下回った。</p>
アールス	<p>京都府を中心に、静岡県、高知県、愛知県、茨城県からの入荷。</p> <p>多くの産地で高齢化により栽培面積の減少が見られるものの、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったこと、また、不況による需要の低迷から、前年同期を18%下回った。</p>
アンデス	<p>山形県を中心に茨城県、滋賀県からの入荷。</p> <p>主力の山形県産で生育期の低温により小玉傾向の入荷であったため、全体の入荷量は、前年同期を5%下回った。</p> <p>価格は、小玉傾向による単価安であったことから、前年同期を11%下回った。</p>
大玉スイカ	<p>鳥取県を中心に、石川県、長野県、山形県、愛知県からの入荷。</p> <p>各産地ともに、好天に恵まれ作柄良好であったものの、前月に前進出荷気味であったことから、全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は、今月前半の低温による需要の低迷、また、前年が高値であったことから、前年同期を26%下回った。</p>